

2019年(平成31年)3月10日(日曜日)

## 山陰中央新報



### 節電やごみの 減量呼び掛け

松江、市民団体が街頭活動

東日本大震災から8年になるのを前に、松江市を拠点に活動する市民環境団体「くにびきエコクラブ」(北垣幸久会長)が8日、同市朝日町のJR松江駅で街頭

活動を行い、生活態度を改めて見直し、節約を呼び掛けた。写真。

活動は毎年この時期に行っている。8年前の震災時、会員が節約して余った物資を支援団体などに提供したのをきっかけに、地元でできる取り組みの一環として街頭活動を始めた。

そろいの赤色ジャンパー

を着た会員8人が参加し、リサイクルや節電、ごみの減量など生活改善法を記したチラシ千枚を駅の利用者に配布。「震災を忘れないで」「食べ物を大切にしましょう」と訴えた。

北垣会長(72)は「被災地に思いを寄せ、節約する気持ちを持ち続けてほしい」と話した。(岸本久瑠人)